

## 第103回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成19年2月2日(金) 13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室1

出席者：委員長 小豆澤 (神戸大)

副委員長 北野 (JR東海)

委員 伊藤 (日立製作所), 大崎 (東京大), 坂井 (安川電機), 山田 (金沢大),  
増澤 (茨城大, 代理福長), 矢野 (産総研), 森下 (東芝), 平田 (大阪大)

幹事 水野 (信州大)

幹事補佐 鳥居 (武蔵工業大)

### 提出資料

- 103-1 第102回リニアドライブ技術委員会議事録案 (鳥居幹事補佐)
- 103-2 リニアドライブ技術委員会名簿 (鳥居幹事補佐)
- 103-3 第83回産業応用部門研究調査運営委員会報告 (小豆澤委員長)
- 103-4 委員会構成員変更(2006年12月～2007年1月) (小豆澤委員長)
- 103-5 D部門出版の技術報告の発行と売上状況(LD技委関係を抜粋) (小豆澤委員長)
- 103-6 D部門感謝状贈呈の目安 (小豆澤委員長)
- 103-7 「顕彰制度」検討に関する『顕彰候補』調査依頼 (小豆澤委員長)
- 103-8 継続教育システム試験運用開始に伴うモニター会員推薦のお願い (小豆澤委員長)
- 103-9 平成18・19年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧 (鳥居幹事補佐)
- 103-10 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール (案) (村井幹事)
- 103-11 MHS2007&Micro-Nano COE (矢野委員)
- 103-12 第2回日韓機素潤滑設計に関する国際会議(ICMDT2007) (矢野委員)
- 103-13 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会解散報告書(2次案) (鳥居幹事補佐)
- 103-14 産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会設置趣意書(2次案) (鳥居幹事補佐)
- 103-15 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会解散報告書(070111案) (増澤委員)
- 103-16 医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会設置趣意書(070115案) (増澤委員)
- 103-17 平成19年度(H19年4月～H20年3月)研究会の開催予定(三次案) (小豆澤委員長)
- 103-18 平成18年度リニアドライブ技術委員会活動報告(案) (小豆澤委員長)
- 103-19 Sponsoring of IEEJ for LDIA2007 (小豆澤委員長)
- 103-20 産業用リニアドライブ国際シンポジウム管理委員会設置趣意書 (小豆澤委員長)
- 103-21 平成18年優秀論文発表賞推薦 (北野副委員長)
- 103-22 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会(MEL)活動報告 (鳥居幹事補佐)
- 103-23 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会(MLV)活動報告 (森下委員)
- 103-24 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会(NAD)活動報告 (平田委員)
- 103-25 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会(MDD)活動報告 (矢野委員)
- 103-26 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会(ECD)活動報告 (増澤委員)
- 103-27 第8回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録 (増澤委員)
- 103-28 第1回磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会議事録 (森下委員)
- 103-29 第2回磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会議事録 (森下委員)
- 103-30 第10回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録 (鳥居幹事補佐)
- 103-31 第1回新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会議事録 (平田委員)
- 103-32 第4回多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会議事録 (矢野委員)

### 議事

#### 1 議事録確認

資料103-1を用いて議事録の確認を行い、承認された。

#### 2. 報告事項

2.1 資料103-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 資料103-3を用いて、小豆澤委員長より、12/12に開催された第83回D部門研究調査運営委の報告

があった。古い技術報告を廃棄処分とすることが報告され、関連して、資料 103-5 の LD 関連の技術報告の収支状況についての説明があった。産業応用フォーラムの開催促進が検討されたとの報告があり、LD 技委は開催予定があることが確認された。LD 研究会の資料予約者が減少しているとの報告があり、近年の動向と対策についての議論が行われた。傘下各調査専門委員に予約を勧めることとした。

- 2.3 資料 103-4 を用いて、小豆澤委員長より、LD 傘下の委員会の構成員変更状況の報告があった。技委の真田幹事補佐が退任、MLV 委は 2 名が実質交替、NAD 委は 1 名が交替している。新委員の発掘努力をすべきとの指摘があった。
- 2.4 資料 103-6 を用いて、小豆澤委員長より、D 部門長名の感謝状は申請し、表彰委員会と役員会での審議・承認を経る必要があるが、技委員長名の感謝状は、審議・報告の必要はない、との報告があった。
- 2.5 資料 103-7 及び 103-8 を用いて、小豆澤委員長より、現在電気学会で検討・試行中である、顕彰制度と、継続教育システムについての紹介があった。
- 2.6 資料 103-9 を用いて、H 18・19 年度予定の確認が行われた。
  - (1) LD 研究会：6 月の予定を 6/14,15 神戸と仮決定、担当は村井幹事とする。
  - (2) LD 研究会：10 月の予定を 10/18,19 とし、ECD,MDD,NAD 協賛にて東京以外で開催。
  - (3) LD 研究会：2 月は 1/31~2/1 をメインとして検討。東京またはその近郊で開催。
  - (4) MLV 委 ~~は~~ 3/16 の予定を追加。
  - (5) MDD 委：4/6, 7/20, 8/24, 10/19, 12/21, 3/7 ~~12/8, 1/26~~ の予定を追加。
  - (6) 関連会合：9/13-15 ISEF2007(Prague, Czech), 10/8-11 ICEMS2007(Seoul, Korea)を追加。
- 2.6 資料 103-10 を用いて、資料提出スケジュールについての確認が行われた。
- 2.7 資料 103-11 及び 103-12 を用いて、矢野委員より、MHS2007 と ICMDT2007 の紹介があり、積極的な投稿と参加への呼びかけがあった。
- 2.8 小豆澤委員長より、D 部門論文委員会において、水野幹事が論文委員会幹事から主査となるため、後任論文委員会幹事として鳥居幹事補佐を推薦したとの報告があった。

### 3. 審議事項

- 3.1 資料 103-13,14 を用いて、鳥居幹事補佐より、産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会の解散報告書案、産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会の設置趣意書案が説明され、審議された。若干の字句修正の後、双方とも承認された。修正した最終版を技委メーリングリストに流して来週末まで意見を求め、最終形を小豆澤委員長へ送付することとした。
- 3.2 資料 103-15,16 を用いて、福長氏より、医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会の解散報告書案、医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会の設置趣意書案が説明され、審議された。解散報告書について、講演会は行うのかとの質問があり、行わない予定であるとの回答があった。若干の字句修正の後、双方とも承認された。
- 3.3 資料 103-17,18 を用いて、小豆澤委員長より、研究会の開催予定の確認が行われた。6 月の場所を神戸、10 月の論文数を 20、2 月の場所を東京、論文数を 20 とすることとした。研究会に招待講演を入れることについての意見交換があった。7 月研究会と連動して長岡で見学会が行われることが確認され、10 月研究会と連動して山梨リニア実験線の見学会を行う可能性について検討することとした。活動計画はこれに伴い修正し、活動報告は実数を入れて修正することとした。
- 3.4 資料 103-19 を用いて、小豆澤委員長より、LDIA の共催についての提案が行われた。D 部門誌に ~~掲載可能と~~ selected paper を掲載し、その掲載費用を管理委から補助する、という形で LD 技委として役員会に共催を提案することとした。copyright transfer が必須であろうとの指摘があった。
- 3.5 小豆澤委員長より、電磁力シンポの投稿状況について、リニアドライブは多く、磁気浮上は少なめである、との報告があった。
- 3.6 資料 103-20 を用いて、小豆澤委員長より、LDIA 管理委が発足したことの紹介があった。
- 3.7 資料 103-21 を用いて、北野副委員長より、優秀論文発表賞の推薦依頼があり、本部 1 名、部門 3 名の割り当てに従って資料の通り推薦したことが紹介された。

### 4 各調査専門委員会活動報告

資料 103-22~103-32 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上